表3.1.28 諏訪湖における保全対象種・類型指定対象種選定のための水生生物リスト（魚類・甲殻類・貝類）

No.	区分	科名	分類群	学名	抽出に用いた参考文献（p160の表3.1.23を参照のこと）										専門家追加	参考データ 希少種			諏訪湖固有種	水域別の判断 国外由来の外来種 生態系被害防止外来種リスト 定着予防		総合対策					国内外来種	諏訪湖において絶滅した種	生態特性（各凡例の内容はp166参照のこと）			判断項目（各凡例の内容はp166参照のこと）							選定条件の数	満たした	目標値導出根拠 貧酸素耐性評価値（mg/L）		現場観測から得られた値（mg/L）		その他（mg/L）		類型 4.0mg/L（生物1） 3.0mg/L（生物2） 2.0mg/L（生物3）		ヒアリング結果を踏まえた保全対象種（候補案）
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		種の保存法	環境省RDB	長野県RDB		侵入予防	その他	緊急対策	重点対策	その他	産業管理	その他文献			a）	b）	c）	ア）	イ）	ウ）	エ）	オ）	カ）	キ）		生息段階	再生産段階	生息段階	再生産段階	酸素消費量の低下	呼吸回数の増加	生息段階	再生産段階	
58	甲殻類	ヌマエビ科	ヌマエビ	*Paratya compressa*					●		●			●														◎	◎	◎	●	●	●	●	●			5									
59			ヌカエビ	*Paratya improvisa*											●													◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●		6									●
60		テナガエビ科	テナガエビ	*Macrobrachium nipponense*					●		●			●														◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●		6									●
61			スジエビ	*Palaemon paucidens*					●		●			●														◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●		6					1.3				●
62	軟体動物（巻貝類）	タニシ科	マルタニシ	*Cipangopaludina chinensis laeta*					●			●	●				VU	NT										◎	◎					●	●	●	●	4									
63			オオタニシ	*Cipangopaludina japonica*					●			●	●				NT	NT										◎	◎	◎		●		●	●	●	●	5									●
64			ヒメタニシ	*Sinotaia quadrata histrica*					●			●	●															◎	◎	◎		●		●	●	●	●	5									●
65		カワニナ科	タテヒダカワニナ	*Biwamelania decipiens*									●				NT											◎	◎	◎		●					●	2									
66			イボカワニナ	*Biwamelania multigranosa*									●				NT											◎	◎	◎		●				●	●	3									
67			カワニナ	*Semisulcospira libertina*									●					N										◎	◎							●	●	2									
68			チリメンカワニナ	*Semisulcospira reiniana*									●															◎	◎	◎		●					●	2									
69		エゾマメタニシ科	マメタニシ	*Parafossarulus manchouricus japonicus*									●				VU											◎	◎	-		-					●	1									
70		モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ	*Fossaria ollula*									●															◎	◎	◎		●					●	2									
71			モノアラガイ	*Radix auricularia japonica*									●				NT											◎	◎	◎		●					●	2									
72		サカマキガイ科	サカマキガイ	*Physa acuta*									●					NT										◎	◎	◎		●					●	2									
73		ヒラマキガイ科	ヒラマキミズマイマイ	*Gyraulus chinensis spirillus*									●				DD	N										◎	◎	◎		●					●	2									
74		カワコザラガイ科	カワコザラガイ	*Laevapex nipponica*									●															◎	◎	-		-					●	1									
75	軟体動物（二枚貝類）	イシガイ科	カラスガイ	*Cristaria plicata*					●			●	●				NT	N										◎	◎	◎		●		●	●	●	●	5									
76			イシガイ	*Nodularia douglasiae nipponensis*					●				●															◎	◎	◎		●		●	●	●	●	5									●
77			マツカサガイ	*Pronodularia japanensis*									●				NT											◎	◎	◎		●					●	2									
78			マルドブガイ	*Sinanodonta calipygos*					●				●				VU											◎	◎	◎		●		●	●	●	●	5									●
79			ヌマガイ	*Sinanodonta lauta*					●				●															◎	◎	◎		●		●	●	●	●	5									●
80		シジミ科	ヤマトシジミ	*Corbicula japonica*					●			●	●	●			NT										●	◎	◎	◎	●	●					●	3									
81			マシジミ	*Corbicula leana*					●			●	●	●			VU											◎	◎	◎	●	●		●	●	●	●	6									●
82			セタシジミ	*Corbicula sandai*					●			●	●	●			VU										●	◎	◎	◎	●	●					●	3									
83			シジミ属	*Corbicula* sp.						●			●	●														◎	◎	-		-		●	●	●	●	4									
84		ドブシジミ科	ドブシジミ	*Sphaerium japonicum*									●															◎	◎	-		-					●	1									
85		マメシジミ科	マメシジミ	*Pisidium japonicum*									●															◎	◎	-		-					●	1									

注1） 国外由来の外来種の欄は環境省の生態系被害防止外来種リスト（http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/index.html）に掲載されている種を示す。カムルチーについては、参考文献を元に国外由来の外来種と判断した。★は特定外来生物を示す。
注2） 黄色網掛けは検討対象種（生態特性を満たしている種）を示す。
注3） 青色網掛けは、関係者ヒアリングの結果、現在の諏訪湖内に生息している可能性が低いとされた種を示す。
注4） 灰色網掛けは絶滅種を示す。
注5） 貧酸素耐性評価値の再生産段階に付記した*は、生息段階の値に+1mg/Lした値であることを示す。
注6） 参考情報の「諏訪湖において、貧酸素の影響を受けている」とは、文献中に死亡、減少、生息域の縮小等の原因が貧酸素であると記述されている種もしくは関係者ヒアリングで貧酸素の影響を受けているという情報が得られた種を示す。
注7） 「－」は、各項目に関して、該当種のデータが無かったことを示す。
注8） トウヨシノボリ類については、分類に混乱が生じており、資料によって種名の表記が異なる。そのため、本リストではトウヨシノボリ類を河川環境データベース（http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkankyo/）に従って「旧トウヨシノボリ類」と表記する。

表3.1.27 諏訪湖における保全対象種・類型指定対象種選定のための水生生物リスト（魚類・甲殻類・貝類）

No.	区分	科名	分類群	学名	抽出に用いた文献（p160の表3.1.23を参照のこと）										専門家追加	参考データ				水域別の判断									生態特性（各凡例の内容はp166参照のこと）			判断項目（各凡例の内容はp166参照のこと）							選定条件の数	満たした	目標値導出根拠						類型		ヒアリング結果を踏まえた保全対象種（候補案）
																種の保存法	環境省RDB	長野県RDB	諏訪湖固有種	国外由来の外来種 生態系被害防止外来種リスト 定着予防 侵入予防	その他	緊急対策	総合対策 重点対策	その他	産業管理	その他文献	国内外来種	諏訪湖において絶滅した種	a)	b)	c)	ア)	イ)	ウ)	エ)	オ)	カ)	キ)			貧酸素耐性評価値（mg/L）		現場観測から得られた値（mg/L）		その他（mg/L）		4.0mg/L（生物1）3.0mg/L（生物2）2.0mg/L（生物3）		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩																										生息段階	再生産段階	生息段階	再生産段階	酸素消費量の低下	呼吸回数の増加	生息段階	再生産段階	
1	魚類	ヤツメウナギ科	スナヤツメ類	*Lethenteron* sp.N-sp.S complex		●	●																																										
2			カワヤツメ	*Lethenteron camtschaticum*		●							●				VU																																
3		ウナギ科	ニホンウナギ	*Anguilla japonica*		●	●	●	●			●	●	●			EN	EW											◎	◎	◎		●		●	●	●		4	1.6	2.6*					生物3	生物2	
4		コイ科	コイ	*Cyprinus carpio*		●	●	●	●		●	●	●	●															◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●		6	2.1	3.1*					生物2	生物1	●
5			ゲンゴロウブナ	*Carassius cuvieri*		●	●	●	●		●	●	●	●			EN											●		◎	◎	●	●	●	●	●	●		6						4.3			●
6			ナガブナ	*Carassius buergeri* subsp.1		●	●	●	●		●	●	●	●			DD	DD												◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●		6									●
7			キンブナ	*Carassius buergeri* subsp.2		●	●	●	●		●	●	●	●			VU	DD												◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●		6									●
8			ギンブナ	*Carassius* sp.		●	●	●	●		●	●	●	●																◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●		6	1.2	2.2*					生物3	生物2	●
9			ゼニタナゴ	*Acheilognathus typus*		●	●	●	●			●	●				CR											●		◎	◎	◎		●		●	●	●		4									
10			タイリクバラタナゴ	*Rhodeus ocellatus ocellatus*		●	●	●	●				●										●																										
11			ニッポンバラタナゴ	*Rhodeus ocellatus kurumeus*		●						●	●				CR											●		◎	◎	◎		●						1									
12			ハクレン	*Hypophthalmichthys molitrix*		●	●	●	●			●	●											●																									
13			オイカワ	*Opsariichthys platypus*		●	●	●	●			●	●	●															◎	◎	◎		●		●		●		3	3.2	4.2*					生物2	生物1	
14			カワムツ	*Candidia temminckii*		●	●						●															●	◎	◎	◎		●						1									
15			ソウギョ	*Ctenopharyngodon idellus*		●	●	●	●			●	●											●																									
16			アブラハヤ	*Phoxinus lagowskii steindachneri*		●	●	●				●	●																◎	◎	◎		●				●		2									
17			ウグイ	*Tribolodon hakonensis*		●	●	●	●			●	●	●															◎	◎	◎		●		●		●		3									
18			モツゴ	*Pseudorasbora parva*		●	●	●	●			●	●																◎	◎	◎		●	●	●	●	●		5	1.2	2.2*					生物3	生物2	●
19			ビワヒガイ	*Sarcocheilichthys variegatus microoculus*		●	●	●	●			●	●															●	◎	◎	◎		●		●	●	●		4									
20			タモロコ	*Gnathopogon elongatus elongatus*		●	●	●					●															●	◎	◎	◎		●	●	●	●	●		5	3	4.0*					生物2	生物1	●
21			スワモロコ	*Gnathopogon elongatus suwae*		●						●					EX	EX	●										●																				
22			ホンモロコ	*Gnathopogon caerulescens*		●	●	●	●			●	●				CR											●		◎	◎	◎		●	●	●	●	●		5	1.3	2.3*					生物3	生物2	●
23			カマツカ	*Pseudogobio esocinus esocinus*		●	●	●	●			●	●																	◎	◎	◎		●		●		●		3	2	3.0*					生物3	生物2	
24			ニゴイ	*Hemibarbus barbus*		●	●	●				●	●																	◎	◎	◎		●						1									
25		ドジョウ科	ドジョウ	*Misgurnus anguillicaudatus*		●	●	●	●		●	●	●				NT	DD												◎	◎	◎		●		●	●	●		4	1.2	2.2*					生物3	生物2	
26			シマドジョウ属	*Cobitis* sp.					●				●																	◎	◎	◎		●						1									
27			ホトケドジョウ	*Lefua echigonia*		●											EN	VU												◎	◎									0									
28		ギギ科	ギギ	*Tachysurus nudiceps*		●	●	●				●	●															●		◎	◎	◎		●						1									
29		ナマズ科	ナマズ	*Silurus asotus*		●	●	●	●		●	●	●																	◎	◎	◎		●		●	●	●		4									
30		アカザ科	アカザ	*Liobagrus reinii*		●	●	●				●	●				VU	NT																															
31		キュウリウオ科	ワカサギ	*Hypomesus nipponensis*	●	●	●	●	●		●	●	●	●														●		◎	◎		●		●	●	●	●		5									●
32		アユ科	アユ	*Plecoglossus altivelis altivelis*		●	●	●	●			●	●	●				CR																															
33		シラウオ科	シラウオ	*Salangichthys microdon*										●																																			
34		サケ科	カワマス	*Salvelinus fontinalis*		●																		●		●																							
35			イワナ属	*Salvelinus* sp.		●	●						●																																				
36			ニジマス	*Oncorhynchus mykiss*		●	●	●	●																●																								
37			サツキマス（アマゴ）	*Oncorhynchus masou ishikawae*		●	●	●					●	●			NT	NT												◎	◎	◎		●		●	●	●		4									
38		カダヤシ科	グッピー	*Poecilia reticulata*		●		●				●	●											●																									
39		メダカ科	メダカ属	*Oryzias* sp.		●	●	●				●	●																	◎	◎	◎		●				●		2									
40		カジカ科	カマキリ	*Cottus kazika*			●										VU													◎	◎									0									
41			カジカ	*Cottus pollux*		●	●																							◎	◎	◎		●				●		2									
42			ウツセミカジカ（回遊型）	*Cottus reinii*		●	●	●				●	●																	◎	◎									0									
43		サンフィッシュ科	ブルーギル	*Lepomis macrochirus macrochirus*		●		●			●	●	●									★																										
44			オオクチバス	*Micropterus salmoides*		●		●			●	●	●									★																										
45			コクチバス	*Micropterus dolomieu dolomieu*		●																★																										
46		カワスズメ科	カワスズメ科	Cichlidae		●		●																●																									
47		ボラ科	ボラ	*Mugil cephalus cephalus*					●																					◎	◎	◎		●						1									
48		ドンコ科	ドンコ	*Odontobutis obscura*	●	●	●	●				●	●																	◎	◎	◎		●						1									
49		ハゼ科	ウキゴリ	*Gymnogobius urotaenia*	●	●	●					●	●															●		◎	◎					●				1									
50			ビリンゴ	*Gymnogobius breunigii*		●	●	●	●			●	●																	◎	◎					●				1									
51			ジュズカケハゼ	*Gymnogobius castaneus*	●	●	●										NT											●		◎	◎					●	●	●		3									
52			アシシロハゼ	*Acanthogobius lactipes*	●	●	●					●	●															●		◎	◎	◎		●						1									
53			ゴクラクハゼ	*Rhinogobius similis*	●	●																						●		◎	◎	◎		●						1									
54			旧トウヨシノボリ類	*Rhinogobius* sp.OR morphotype unidentified	●	●	●	●	●			●	●																	◎	◎	◎		●		●	●	●		4									
55			ヌマチチブ	*Tridentiger brevispinis*		●																						●		◎	◎	◎		●			●			2									
56			チチブ	*Tridentiger obscurus*	●	●	●																					●		◎	◎	◎		●			●			2									
57		タイワンドジョウ科	カムルチー	*Channa argus*		●	●	●	●			●	●														●																						

注1） 国外由来の外来種の欄は環境省の生態系被害防止外来種リスト（http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/index.html）に掲載されている種を示す。カムルチーについては、参考文献を元に国外由来の外来種と判断した。★は特定外来生物を示す。
注2） 黄色網掛けは検討対象種（生態特性を満たしている種）を示す。
注3） 青色網掛けは、関係者ヒアリングの結果、現在の諏訪湖内に生息している可能性が低いとされた種を示す。
注4） 灰色網掛けは絶滅種を示す。
注5） 参考情報の「諏訪湖において、貧酸素の影響を受けている」とは、文献中に死亡、減少、生息域の縮小等の原因が貧酸素であると記述されている種もしくは関係者ヒアリングで貧酸素の影響を受けているという情報が得られた種を示す。
注6） 貧酸素耐性評価値の再生産段階に付記した*は、生息段階の値に+1mg/Lした値であることを示す。
注7） 「－」は、各項目に関して、該当種のデータが無かったことを示す。
注8） トウヨシノボリ類については、分類に混乱が生じており、資料によって種名の表記が異なる。そのため、本リストではトウヨシノボリ類を河川環境データベース（http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkankyo/）に従って「旧トウヨシノボリ類」と表記する。